

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-1  
生涯を通じた学習と社会貢献活動の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

社会教育課 前田秀典

電話番号

0852-22-5910

事務事業の名称	社会教育総合推進事業		
目的	(1) 対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>島根県社会教育委員</li> <li>社会教育関係団体</li> </ul>	
	(2) 意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習社会の構築をめざし、社会教育行政及び生涯学習振興行政を推進するための体制整備を図る。</li> <li>社会教育関係団体に対する助言や表彰等により、社会教育関係団体の活動の活性化を図る。</li> </ul>	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育に関する専門的知見や実践経験を有する有識者が構成する社会教育委員の会議を開催し、いただいた意見を社会教育行政を進めるための参考とする。</li> <li>社会教育関係団体の活動の活性化を図るため、関係団体が行う研修会等に参加し、専門的・技術的な助言を行う。</li> <li>少年団体活動の発展のため、優れた活動を行っている少年団体を対象とした表彰を行う。</li> </ul>		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	社会教育に対する助言等の場の確保	目標値		2.0	2.0	2.0	2.0	回
	式・定義	社会教育委員の会議の開催回数	取組目標値						
			実績値	3.0	3.0	2.0			
			達成率	-	150.0	100.0	-	-	%
2	指標名	社会参加への意欲	目標値		700.0	700.0	700.0	700.0	人
	式・定義	連合婦人会研修参加者数	取組目標値						
			実績値	685.0	637.0	598.0			
			達成率	-	91.0	85.5	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	974	1,766
うち一般財源 (千円)	974	1,766

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 学校教育関係者・社会教育関係者・家庭教育実践者・学識経験者から12名の委員を委嘱している。
- 年2～3回の会議を開催し、社会教育行政全般について幅広く意見をいただき、今後の社会教育行政の参考としている。
- 連合婦人会の実践活動研究会への参加者が減少している。(H28:637名→H29:598名)
- 審査会を経て選考された2団体を表彰した。(H27:2団体 H28:3団体 H29:2団体)

## 6. 成果があったこと (改善されたこと)

- 社会教育に関する多様で幅広い意見をいただくことによって、県社会教育行政における課題の認識や、方向性・具体的取組等の参考としている。
- 連合婦人会の研修会は、現代的課題を取り上げるなど参加者のニーズにあった研修会となった。
- 表彰がメディアに取り上げられることで、活動の励みになり、少年団体活動の活性化につながっている。

## 7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- 社会教育行政を進めるための意見や提言をいただく機会が少ない。
- 近年の優良少年団体表彰は、限られた市町村からの推薦が多い。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 議論のテーマが多岐にわたり、意見の集約が困難。
- 表彰制度の周知や少年団体活動の掘り起こしが十分でない。

### ③原因を解消するための「課題」

- 開催の方法等を工夫する必要がある。
- 表彰対象となる少年団体活動の掘り起こしが必要である。
- 表彰制度の情報提供方法を工夫する必要がある。

## 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 開催方法等を工夫し、社会教育行政に関する意見をいただくよう努める。
- 市町村において表彰対象となる少年団体活動の掘り起こしができるよう、余裕のあるスケジュールで推薦を依頼する。
- 市町村担当者、派遣社会教育主事、教育事務所と連携して、表彰制度の情報提供方法を工夫するほか、社会教育委員などに情報の提供を呼びかける。